

秋に種子が熟し、土壌に落ちてシードバンクを作ります。河川で分布が拡大した原因のひとつに、夾が撥水性で軽いために水によって流されやすいことが考えられます。実生によって旺盛に繁殖し、種子の発芽率は 90% 以上というデータもあり、種子の寿命も長いとされています。また、根茎や切り株からも旺盛に萌芽し、伐採した年内に 4.5m まで生長した例もあります。

旺盛な繁殖力とあわせて生育速度が速いことから、導入の当時から緑化木として重宝された反面、他の樹種への転換ができなくなる危険性が指摘されていました。

芽吹き前の伐採は夏の伐採より萌芽枝の発生を促進するので注意が必要です。



目地から発生するハリエンジュ背後のフェンス内には高木化したハリエンジュがある

有効な防除方法は未だに確立されていませんが、萌芽の多くは根茎に由来することから、伐採の際に抜根することが有効です。

弊社の研究により、植物成長調整剤がハリエンジュの生長抑制に有効であることが明らかになりました。

人の手によって導入されたにもかかわらず、人の都合で悪者なった木ですから、人の責任で最後まで面倒を見てあげたいですね。



目地から発生し植調剤で抑制されているハリエンジュ

<参考文献>

コラム「緑化植物 ど・こ・ま・で・き・わ・め・る」／福永健司／緑化工誌 J.Jpn. Soc. Reveget. Tech.,32(3),447
原色図鑑「芽ばえとたね」／著者浅野貞夫／株式会社全国農村教育協会
Ⅲ対策を優先すべき主な外来植物 10 種の生態的特徴と対策手法／
国土交通省 HP http://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/
伐採・抜根によるハリエンジュ駆除効果と今後の課題／丹野幸太、前田諭